

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

日頃から、市政にお寄せいただき、ありがとうございます。ご協力に、心より御礼を申し上げます。

コロナと共に迎える新年も4年目となりましたが、市民の皆さまには感染拡大防止のための基本対策、ワクチン接種などへのご協力を賜っており、改めて感謝を申し上げます。

さて、市では「ワクワクがとまらない 自然とチャレンジがいきるまち田村市」をスローガンに、新たなまちづくりの基本となる第2次総合計画を策定いたしました。策定にあたっては、多くの市民の皆さまの声を聴かせていただき、これらひとつひとつの声を反映させることで、自然豊かな田村市に、子どもからお年寄りまですべての市民が笑顔で豊かに暮らす、そんな明るいビジョンを描くことが出来ました。

昨今の情勢を顧みますと、年々激甚化する地震や豪雨などの自然災害に加え、円安や原油価格高騰など、目まぐるしく変化しており、田村市においてもさまざまな影響や課題が山積しておりますが、これらに正面から向き合い、ビジョンの実現に向け着実に進んでまいります。

当市の基幹産業である農業においては、都路町の地見城に続き古道ライスセンターが完成したことにより、農家の負担軽減や低コスト化による収益性が図られ、営農再開への意欲向上や担い手育成にもつながるものと期待しております。

市民のために 開かれた議会を目指して

明けてましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

さて、人口減少や少子高齢化、物価の高騰など地方を取り巻く情勢は、大変厳しい状況にあります。加えて、新型コロナウイルス感染症は拡大と収束を繰り返しており、引き続き感染対策を進めながら、新しい生活様式に対応した市民生活の充実を図ることが、新たな時代へつながる推進力になるものと考えられ、積極かつ迅速な対応が求められています。

議会といたしましても、企業誘致による雇用の場の確保や子育て支援の充実など、定住人口の増加に向け、議会の持てる力を十分に発揮できるよう、引き続き全力を尽くしてまいります。

人口の流出抑制や定住促進を図るため整備を進めております(仮称)田村市東部産業団地には、ヒメジ理化学株式会社の工場新設が決定し、半導体や液晶用ガラスの製造に加え、敷地内に再生可能エネルギー由来の水素製造装置が導入される見込みとなり、SDGsの理念に沿った持続可能な地域づくり、新エネルギーの拠点としての活躍にも大いに期待を寄せております。

「たむらの桜88撰」総選挙では、市内139カ所の候補桜から88の桜を選出し、足元にある観光資源の再発見が出来ましたので、新たな観光周遊ルートの地盤固めに活用してまいります。また、本年はあぶくま洞が開洞50周年を迎え、記念すべきタイムリングで日本鍾乳洞サミットを田村市で開催する予定です。さらには、全国で初めて開催したクワガタサミットの成果として、昆虫と共生する環境づくりに取り組み「昆虫の聖地」として世界へ発信してまいります。

すべては一人一人の笑顔をつくるために、皆さまの声を推進力として「より良い田村市づくり」に邁進してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって希望に満ち溢れ、ワクワクがとまらず、笑顔あふれる幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさついたします。

昨年、合併以来5度目となる市議会議員選挙が執行され、議員定数削減により、18人の新たな議会構成でスタートをしております。議会は、言うまでもなく市民の意見を最大限尊重する責務を有しております。これからも市民の代表であることを強く認識するとともに、常に市民の声や地域の意見の把握に努めながら、それらを尊重したうえで、責任ある行動をとるよう心がけなければならぬと考えております。

市民の皆さまが、ここに住んでよかったと心から実感できるような田村市の実現を目指し「市民のために審議し、市民のために決定する」という市議会の基本理念を大切にしながら、市民の皆さまの負託と期待に応えられるよう、努めて参りますので、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、市民の皆さまにとりまして、今年一年が健康で希望に満ちた幸せな年であることを心よりお祈りし、年頭のあいさついたします。

New Year's greetings! 2023 新年のごあいさつ



田村市長 白石高司



「田村の美桜 88景」
小沢の桜 (船引町)



田村市議会議員 大橋幹一



「田村の美桜 88景」
朝霧城の桜 (大越町)